

株式会社日本トリム

2023年3月期 第2四半期決算 決算補足説明資料

2022年11月8日

証券コード:6788 (東証プライム)

【新 資本政策の基本方針】

1. 資本効率性の向上 **目標指標：ROE 10%以上**
2. 株主還元の強化 **基準：DOE 3%**
3. 財務健全性の維持

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率） = ROE × 配当性向

2023年3月期

期末配当予想 **120円**

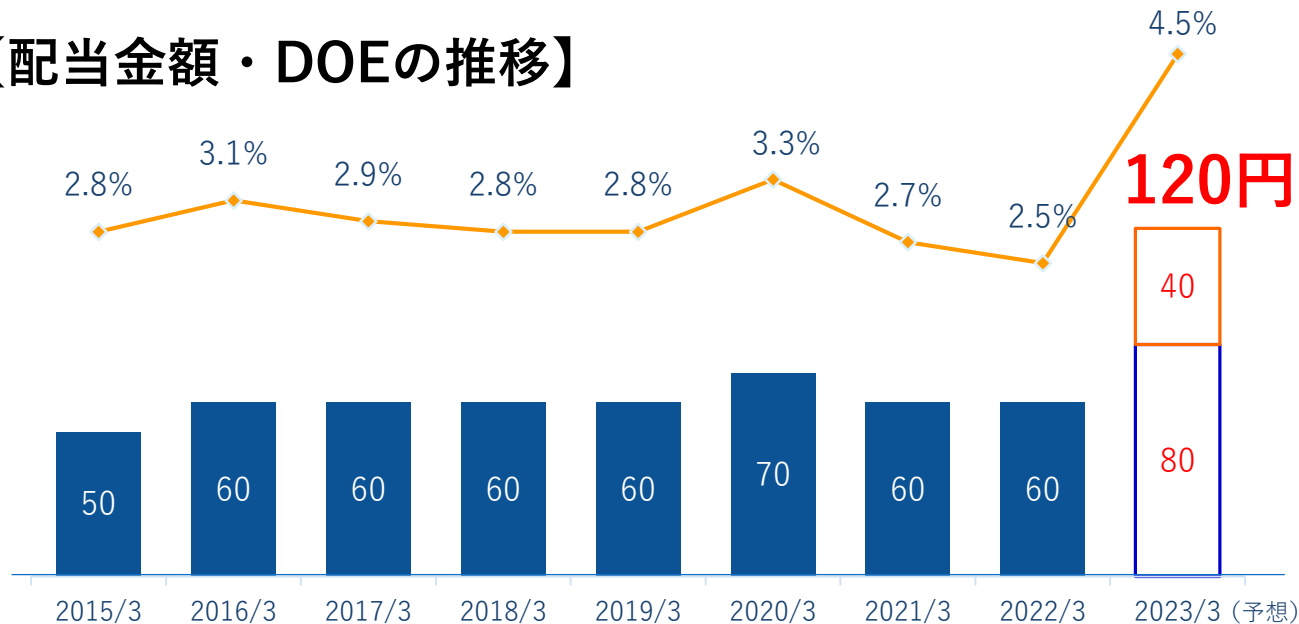
（増配20円 + 40周年記念配当 40円）

DOE **4.5%**

配当性向 **57.5%**

※ 会社予想ベース

【配当金額・DOEの推移】



株主優待制度：弊社商品 30%オフ



2023年3月期 第2四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2022/3期 2Q	構成比	2023/3期 2Q	構成比	前期比
売上高	8,411	100.0%	9,081	100.0%	108.0%
売上総利益	5,867	69.8%	6,293	69.3%	107.3%
販売費及び一般管理費	4,654	55.3%	5,072	55.9%	109.0%
営業利益	1,213	14.4%	1,220	13.4%	100.6%
営業外収益	70	0.8%	83	0.9%	118.9%
営業外費用	29	0.4%	9	0.1%	30.8%
経常利益	1,253	14.9%	1,294	14.3%	103.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,455	17.3%	847	9.3%	58.2% (※)

【計画比】

(第2四半期計画/百万円)

売上高	99.2%	9,150
営業利益	100.1%	1,220
経常利益	102.0%	1,270
四半期純利益	107.3%	790

【対通期計画 進捗率】

(通期計画/百万円)

売上高	50.1%	18,130
営業利益	48.8%	2,500
経常利益	49.6%	2,610
四半期純利益	53.0%	1,600

※ 四半期純利益の前期比マイナスは、前期において、中国病院運営事業関連の債権譲渡及びシステムセル研究所の株式売り出しにより税金費用が減少した特殊要因。

2023年3月期 第2四半期 セグメント別 売上高

(単位:百万円)

	2022/3期 2Q	構成比	2023/3期 2Q	構成比	対前期比
D S (職 域 販 売)	1,851	22.0%	2,026	22.3%	9.4%
H S (取 付 ・ 紹 介 販 売)	795	9.5%	778	8.6%	▲2.2%
S S (店 頭 催 事 販 売)	228	2.7%	248	2.7%	8.7%
卸 ・ O E M	371	4.4%	405	4.5%	8.9%
ア フ タ ー	144	1.7%	176	1.9%	22.6%
架 電 (下 取 り)	209	2.5%	154	1.7%	▲26.5%
W E B 販 売	242	2.9%	224	2.5%	▲7.6%
整 水 器 合 計	3,844	45.7%	4,013	44.2%	4.4%
浄 水 カ ー ト リ ッ ジ	2,546	30.3%	2,582	28.4%	1.4%
広 州 多 寧 健 康 科 技 有 限 公 司	119	1.4%	93	1.0%	▲21.7%
P T . S u p e r W a h a n a T e h n o	631	7.5%	836	9.2%	32.5%
そ の 他	331	3.9%	399	4.4%	20.7%
ウ ォ ー タ ー ヘ ル ス ケ ア 事 業 計	7,473	88.8%	7,926	87.3%	6.1%
再生医療関連事業 (ステムセル研究所他)	900	10.7%	1,076	11.9%	19.4%
電 解 水 透 析 (T M I)	37	0.4%	78	0.9%	111.2%
医 療 関 連 事 業 計	938	11.2%	1,154	12.7%	23.1%
連 結 合 計	8,411	100.0%	9,081	100.0%	8.0%

2023年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022/3/31	構成比	2022/9/30	構成比
現金及び預金	11,878	44.7%	12,892	46.8%
受取手形及び 売掛金	3,861	14.5%	4,435	16.1%
固定資産	8,430	31.7%	8,512	30.9%
資産合計	26,590	100.0%	27,529	100.0%
前受金	2,943	11.1%	3,129	11.4%
純資産合計	20,802	78.2%	21,354	77.6%
負債純資産合計	26,590	100.0%	27,529	100.0%

現金及び預金+売掛金
合計 **17,327** 百万円
+ **1,587** 百万円

資産合計
+ **938** 百万円

※前受金

主にステムセル研究所に
おける前受保管料

理化学研究所との共同論文（2022年10月）

電解水素水の日常的飲用は、
炎症性腸疾患モデルラットの腸組織の炎症を抑制し、
腹部疼痛を緩和する

科学誌「*Nutrients*」で発表

電解水素水の日常的飲用により、難病である
潰瘍性大腸炎やクローン病の患者の方々の
QOL（生活の質）向上への貢献が期待される。

炎症性腸疾患：

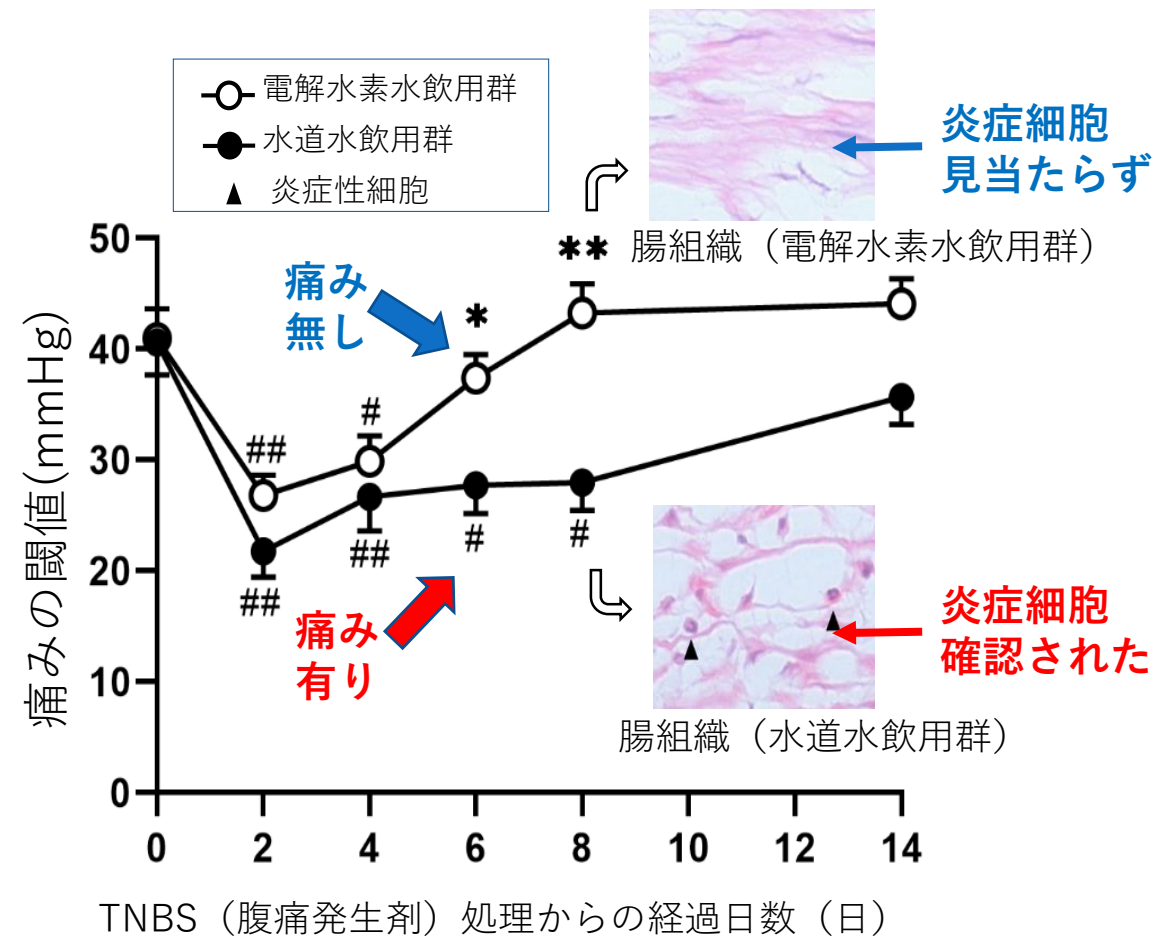
腸管の慢性的な炎症により、腹痛、下痢、血便などの症状を伴う疾患。寛解しても、再発を繰り返しやすいことが特徴。

患者数：潰瘍性大腸炎 140,574人

クローン病 47,633人

（厚生労働省「令和2年度 衛生行政報告書」）

図1 モデル腹部疼痛への飲料水による経時的影響



企業理念:「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する。」

【マテリアリティ(重要課題)】

- 地球温暖化対策への対応
- 環境対策（循環型社会の構築）への貢献



- 持続可能な調達の実施



- 健康寿命の延伸への貢献 [ウォータヘルスケア事業]
- 新しい医療（治療法・サービス）の開発 [医療関連事業]



健康・医療



環境



ひと



- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 働き方改革の実施



サプライチェーン



社会



- 地域社会との共存
- 農業分野への貢献



本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。